

今回は教科書の10章の範囲を説明します。「予習確認テスト」ではなく、授業の最後に行う「確認テスト」です。以下の項目を講義で説明しますので必ずしも予習は必要ではありません。

### 暗記事項

【暗記事項1】から【暗記事項16】まではすべて、「A: 正しい」が正答となります。確認テストでは表現を変えて「B: 間違っている」が答えになることもあります。

【暗記事項1】 プロジェクトの概要をまとめる時は、達成すべきことを記述し、達成する手段は記述しない

【暗記事項2】 リスク要因を洗い出す時は、望ましくない状況をできるだけ多く考えておく

【暗記事項3】 アクターとは、開発システムと相互作用する他のシステムやユーザーのことである

【暗記事項4】 アクターには開発システムを直接操作しないであろうユーザーや他のシステムを含むことがある

【暗記事項5】 ユースケースとは特定のジョブを完了するための開発システムの使用事例である

【暗記事項6】 ユースケースは同じ目的を持つシナリオを一つにまとめたものである

【暗記事項7】 シナリオはアクターと開発システムの一連の処理の流れを記述するものである

【暗記事項8】 一つのシナリオにつき一つの起こりうる処理の流れを記述する

【暗記事項9】 ユースケース図は、ユースケースの集まりを図示する

【暗記事項10】 主シナリオは望ましい処理の流れが記述されている

【暗記事項11】 副シナリオでは、例外処理に相当する処理の流れを記述する

【暗記事項12】 ユースケース名では、主語を書かないが、「(開発システムが)」という主語が暗に存在するように定める

【暗記事項13】 ユースケースでは、ユーザインターフェースについては記述しない

【暗記事項14】 アクティビティ図の開始ノードは ●

【暗記事項15】 アクティビティ図のアクティビティ終了ノード (正常終了) は ◎

【暗記事項16】 アクティビティ図のフロー終了ノード (異常終了) は ⊗

- ・ 表10.1の左側の列について穴埋め問題を出します
- ・ 期末テストでは、図10.5のようなユースケースを書く問題を出します